

# 村山犬川の水生生物調査（2012年調査+α）

かべ新聞-2

山形市立第十小学校 6年 高品 晃

## 1. 目的

村山犬川はよく釣りに行った川です。この川ではいろんな魚が釣れました。この川の水質を調べるため、水生生物調査を2012年に行いました。水生生物は、その種類によって住んでいる水の水質が違うので、どんな水生生物が住んでいるかを調べると、その川の水質が分かります。

## 2. 調査方法、

網を川底に立て、網の上流の川底を足でグリグリかき混ぜて、網に入った生物を調べました。また川底の石をひっくり返して、石にくっついてる生物を調べました。調査は山形県環境科学センターの大久保さん田中さんに協力していただきました。



きました。

調査地点は地図に示した河川工事をしたところ①、その上流②、下流の自然な流れ③の3か所です。

## 3. 結果

汚い水(3)に住む水生生物が一番多く見つかった。しかしナミウズムシやコオニヤンマのヤゴなど、きれいな水(1)~ややきれいな水(2)に住む水生生物もいた。町を流れる犬川は最近河川改修され、だんだん水がきれいになってきていると考えられた。河川改修した下流域では、カワセミという小魚を餌にする鳥がいたことにびっくりした。



水生生物	調査地点			住んでいる水質
	1	2	3	
コオクツトビゲラ	△	△	—	1
ナミウズムシ (アラリア)	○	○	○	1~2
シロハラコクネロウ	△	△	—	1~2
コオニヤンマ	—	—	△	2
コヤンマ	○	○	△	2
コカタシマトビゲラ	○	○	△	2
ミスヅムシ	◎	◎	◎	3
シマイトビル	◎	◎	◎	3

下流域ではたくさんの小魚が泳いでいた。

<2012年見かけた魚>

フナ、ウグイ、オイカワ、モロコ類、ドジョウ

<過去に釣ったことにある魚>

コイ、フナ、金魚、鉄魚(ひれの長いフナ)、ウグイ、アブラバヤ、オイカワ、タモロコ、ニジマス、ヤマメ

<2014年ガサガサ：西バイパス脇の上流>

コオニヤンマ、アブラバヤ稚魚多数、黒川虫  
 ・上流まで河川改修が進み、平瀬が続くようになったため、コイ・フナを見かける深場、淀みが無くなった。そのためか、アブラバヤの稚魚ばかりを見かけた。

※生物の数△：1~10匹、○：11~20匹、◎：20匹以上

※水質1：きれいな水、2：ややきれいな水、3：汚い水、4：とても汚い水